

7月19日～8月31日  
夏休みも川湯エコミュージアムセンターを満喫  
夏休み企画と開館延長



思い思いに切り絵に挑戦

川湯エコミュージアムセンターでは7月19日から8月31日まで、夏休み企画「切り絵・塗り絵体験」が「摩周湖で星を見よう」が行われ、家族連れなどでにぎわいました。

昨年から行われている切り絵・塗り絵ですが、新たに動物の絵柄を追加。「摩周湖で星を見よう」は、摩周湖の夜空の写真から星座を見つけ、結んでいくというもの。どちらも川湯地域ならではの思い出作りとして好評でした。

8月4日から19日までは開館時間が1時間延長され、来館した皆さんは夏休み企画やクラフト体験をしたり、映像を見るなど、ゆっくりと館内を楽しんでいました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させていただきます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 482-2913 (課直通)

新しい防災の拠点に

弟子屈消防庁舎落成記念式典



落成を記念してテープカット

弟子屈消防庁舎落成記念式典が7月28日、新しい弟子屈消防庁舎で行われました。近年の自然災害の増加と前消防庁舎の老朽化により新たに建築された新庁舎。「町民に開かれた町民の安心・安全のシンボル」をコンセプトに建設されました。新庁舎は、119番の発信地を瞬時に表示する通信システムや、災害時の一時避難場所として105人を収容できる防災ホールや72時間稼働可能な非常用発電設備・燃料タンクの設置、役場庁舎が災害で使用できない場合の代替機能を有する防災センター会議室を配置。冷暖房には地中熱ヒートポンプを採用し、省エネで環境にやさしい最新設備が備えられています。庁舎内はバリアフリー、多目的トイレも設置されており、全町民に配慮した施設になっています。式典には町内外から関係者150人が出席。設計担当者より設計コンセプトの紹介が行われ、徳永消防事務組合長や菅井憲昭消防団のリーダーを合図にテープカットを行いました。



新消防庁舎

釧路北部消防事務組合弟子屈消防庁舎の落成記念式典が7月28日、新しい弟子屈消防庁舎で行われました。

近年の自然災害の増加と前消防庁舎の老朽化により新たに建築された新庁舎。「町民に開かれた町民の安心・安全のシンボル」をコンセプトに建設されました。



町の話題

町の話題

英語に親しむ3日間

平成29年度弟子屈町イングリッシュキャンプ



参加者全員による記念撮影

町教育委員会と町教育研究所による平成29年度弟子屈町イングリッシュキャンプが8月11日～13日の3日間にわたって玉川大学北海道弟子屈農場美留和「晴耕塾」で行われました。平成27年に締結された学校法人玉川学園との包括連携協定に基づき、今回初めて開催されました。英語の基本的な表現に親しみ、異文化への興味・関心を深めることを目的としています。当日は町内の小・中学校、高校から24人が参加しました。キャンプは英語を用いたゲームや簡単な自己紹介が始まり、本町のALITによる英会話教室や玉川大学文学部准教授による授業のほか、玉川大学の学生が企画進行した、外国人観光客に本町の魅力を英語で紹介する取組みなど多くの体験で生きた英語を学びました。1日目と2日目の夕食時には英語を使って調理器具や食材を調達するイングリッシュキッチンを実施。ハンバーガーとカレーライスを参加者全員で協力して作り、英語も食事も堪能しました。



キャンプの様子

1日目と2日目の夕食時には英語を使って調理器具や食材を調達するイングリッシュキッチンを実施。ハンバーガーとカレーライスを参加者全員で協力して作り、英語も食事も堪能しました。

7月27日

摩周湖周辺を馬で散策  
川中3年生がホーストレッキングに挑戦



青空のもと硫黄山を背景に進む

川湯パーク牧場から摩周湖までを馬で登る「摩周湖ホーストレッキングマウンテントレイル」が7月27日に開催され、川湯中学校(千葉徹校長)の3年生6人が参加しました。

中山間地域等直接支払制度を活用した体験学習で、例年小学校向けの学習が開催されてきましたが、今年は初めて中学校向けに開催。川湯パーク牧場での乗馬練習後、同牧場の長谷川義晃さんの先導で生徒たちは同牧場を出発。牧草の草原や林道を通って摩周湖まで約12キロ、往復4時間の道のりを大きな馬に揺られながら進みました。

7月29日

自然公園クリーンデーに合わせて  
環境省などが屈斜路湖畔で清掃活動



手分けして丁寧にゴミ拾い

環境省と摩周・屈斜路パークボランティア、阿寒国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部の職員など10人が7月29日、屈斜路湖東岸にて清掃活動を行いました。

毎年8月の第1日曜日は「自然公園クリーンデー」として各地で美化清掃活動が行われており、その一環として実施。拾ったゴミは空き瓶や缶、ペットボトル、発泡トレイなど。計8袋と合わせて廃タイヤ4本も回収しました。参加者は「毎年行っているのにゴミは少なくなっているように感じる。このまま続けていきたい」と話していました。

7月24日

弟子屈の魅力が詰まった一枚でわがまちをPR  
「わがまちご当地入場券」販売開始



観光客数の拡大にも期待

北海道旅客鉄道(株)(JR北海道)が作成した「わがまちご当地入場券」が7月24日、JR摩周駅 丹誠一郎駅長から徳永町長へ贈呈されました。裏表両面に硫黄山や摩周湖など町の美しい自然がレイアウトされています。ご当地入場券を目的に町を訪れてもらい、JRの利用拡大につながればと作成されました。販売は8月から開始されており、JR摩周駅のみどりの窓口でのみの販売です。価格は170円で、期限も枚数制限ももうけないとのこと。阿寒摩周国立公園へ名称変更となるこの機会に、記念に購入してみたいはいかがでしょうか。

裏表両面に硫黄山や摩周湖など町の美しい自然がレイアウトされています。ご当地入場券を目的に町を訪れてもらい、JRの利用拡大につながればと作成されました。販売は8月から開始されており、JR摩周駅のみどりの窓口でのみの販売です。価格は170円で、期限も枚数制限ももうけないとのこと。阿寒摩周国立公園へ名称変更となるこの機会に、記念に購入してみたいはいかがでしょうか。

7月28日

重さ3.5キロの大玉も  
摩周メロン豊穡祭で出荷開始を祝う



出荷を祝ってメロンカット

摩周メロン生産組合(藤田重太郎組合長)の「豊穡祭」が7月28日、町農産物集出荷センターで行われました。豊穡祭では、川口覚摩周湖農業協同組合長と佐々木啓之弟子屈郵便課長、徳永町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷開始を祝いました。摩周メロンは同組合の9戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」と町のふるさと納税の返礼品だけの取り扱いで市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。今年は天候に恵まれ、豊穡祭には去年の10倍の約2千玉が並び、出荷を待っていました。

摩周メロン生産組合(藤田重太郎組合長)の「豊穡祭」が7月28日、町農産物集出荷センターで行われました。豊穡祭では、川口覚摩周湖農業協同組合長と佐々木啓之弟子屈郵便課長、徳永町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷開始を祝いました。摩周メロンは同組合の9戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」と町のふるさと納税の返礼品だけの取り扱いで市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。今年は天候に恵まれ、豊穡祭には去年の10倍の約2千玉が並び、出荷を待っていました。

# カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

7月30日

## 親子で作品づくり 夏休み親子トンカチ広場を開催



作品を手に記念撮影

町主催による『夏休み親子トンカチ広場』が7月30日、町林業多目的センターにおいて開催されました。

当日は子ども16人、大人17人、あわせて33人が参加し、親子での夏休みの思い出として、また自由研究の作品として熱心に作品を作っていました。

作品制作では大人も真剣に作業しており、子どもたちは楽しみながら上手にノコギリやカナヅチを使っていました。

8月5日

## 歩行者天国と音楽イベントで地域おこし 若者が企画したサマージャック弟子屈



多くの人でにぎわった会場

サマージャック弟子屈(同実行委員会主催)が8月5日、中央通商店街で開催されました。

まちのにぎわいを取り戻したいと、上村剛志実行委員長をはじめとした町内の30代有志が企画したもので、昨年に引き続き3回目。さまざまな出店が通りを埋めたほか、多彩なイベントや弟子屈小学校吹奏楽少年団、弟子屈中学校吹奏楽部、PLバントワラー弟子屈教室、I&Mバトンスタジオの皆さんの発表が行われました。また、特設ステージでは、国内の第一線で活躍するレゲエ歌手の皆さんなどの公演も行われました。

8月6日

## 交通安全の意識高揚と健康づくりのために パークゴルフ交通安全協会会長杯を開催



晴天のもとナイスショット

町交通安全協会主催によるパークゴルフ大会第20回交通安全協会会長杯が8月6日、900草原パークゴルフ場で開催されました。参加者の交通安全への意識高揚と、健康づくり推進を

目的に開催されたもので、37人が参加しました。

参加者は、さわやかな天気のもと、日頃の練習の成果を思う存分発揮していました。

男子優勝 中原 慎男 2位 吉田 弘康 3位 横田 憲治  
女子優勝 林 淳子 2位 玉手 武子 3位 田畑 弓子

8月4日

## 音楽隊の演奏とカラーガード隊のパフォーマンスも 北海道警察 警察官採用イベントを開催



鑑識作業を体験

北海道警察は、平成29年度第2回警察官採用試験の採用イベントを8月4日、摩周観光文化センターで開催しました。警察官の採用説明会に合わせ、警察官の制服の試着や、鑑識体験などが行われ、小学生などが真剣な表情で鑑識作業の体験を行っていました。

また、北海道警察音楽隊による演奏やカラーガード隊によるパフォーマンスも披露され、観覧した町民250人もすばらしい演奏とパフォーマンスに感激した様子でした。

8月4日

## 釧路川の生きものを調べて水質を判定 釧路川右岸沿いで水質調査を実施



川の水温を確認

釧路開発建設部が、8月4日、釧路川での水質調査を行いました。この調査は、昭和59年から毎年実施されているもので、釧路川流域の小中学生の協力を得ながら実施されています。今年度の調査は、標茶町栄地区の釧路川右岸で行われ、弟子屈中学校文化部の生徒4人が参加。水温、川幅、川底の状態、流速、透明度やにおいなどを実際に川の中に入り調査しました。川底からたくさんの種類の生物が採取され、生徒たちは驚きながらも真剣な表情で調査を行っていました。

生徒たちは白衣に着替え院内を見学。検査室やリハビリ室をまわり看護師や技師など病院で働く方々の仕事を学びました。見学後は看護体験を実施し、ベッドからストレッチャーへの移動や車いす移動の介助を体験。患者さんへの足浴も行いました。生徒に足浴をしてもらった患者さんは「あったかくて気持ちいい」と喜ばれていました。その後は看護師さんの実際の仕事を間近で見学。終始緊張した様子でしたが、無事に体験学習を終え、安心した表情もみられました。

8月7日

## 看護師の仕事を一体験！ 弟高1年生4人が職場体験



息を合わせてベッドから移動

弟子屈高校(木村浩士校長)の1年生4人が8月7日、摩周厚生病院(森正光院長)で看護師の体験学習を行いました。

生徒たちは白衣に着替え院内を見学。検査室やリハビリ室をまわり看護師や技師など病院で働く方々の仕事を学びました。見学後は看護体験を実施し、ベッドからストレッチャーへの移動や車いす移動の介助を体験。患者さんへの足浴も行いました。生徒に足浴をしてもらった患者さんは「あったかくて気持ちいい」と喜ばれていました。その後は看護師さんの実際の仕事を間近で見学。終始緊張した様子でしたが、無事に体験学習を終え、安心した表情もみられました。

8月8日

## 長年の木工品寄贈で郵政事業に貢献 石橋さんに弟子屈郵便局から感謝状



石橋さん(右)と藤原局長

郵政事業に長年貢献したとして、石橋和美さんに弟子屈郵便局長感謝状が贈られました。贈呈式は8月8日に行われ、藤原将男局長から感謝状と記念品が手渡されました。

石橋さんは13年ほど前から、廃棄物などから集めた材料で置物などの木工作品を製作し、同局に展示。展示後は希望者へ譲渡しています。自然の素材のため同じ作品は二つとありません。年間でおよそ60~70点もの作品を制作。贈呈式では「趣味・楽しみでやっている。感謝状がもらえるなんて夢にも思っていなかった」と話していました。石橋さんの作品は今年も展示され、譲渡が行われる予定です。

8月4日

## 食品や日用品など800品目を販売 移動販売車「実りの恵号」の運行を開始



地域の利便性向上のために

摩周湖農協同組合(川口覚組合長)のAコープ移動販売車「実りの恵号」が8月4日、7日からの販売に先立ち、Aコープてしかが駐車場で、開始式典が開催され、真新しい車両が披露されました。

式には、20人ほどの関係者が出席。川口組合長が「多くの人に利用してもらい、利便性向上につなげたい」、徳永町長は「地域の御用聞きとして期待したい」と話しました。

当面は、繁忙期で忙しい組合員への販売となりますが、地域の要望などをもとに、一般への販売も行う予定です。

8月4・5・10日

## 地域の役に立ちたい 2社が社会貢献で墓地の草刈り



丁寧に作業する摩周植物園上と辻谷建設下

(有)摩周植物園(古瀬廣幾代表取締役)の皆さんが8月4日に川湯墓地で、5・10日には辻谷建設(株)(辻谷智之代表取締役)の皆さんが弟子屈墓地で、それぞれ環境整備を行いました。

お盆を迎えるにあたり、お墓参りに訪れる皆さんが気持ちよく利用できるようと、社会貢献活動の一環として行ったもの。日々の道路維持作業での機動力を生かし、手際よく墓地内の草刈りを行いました。

8月8日

## 世代を超えた交流会 町老人クラブ連合会世代間交流イベント



見よう見まねで輪になって

町老人クラブ連合会(竹内勲会長)が主催の第1回盆踊り大会が8月8日、社会老人福祉センターで行われました。

町老人クラブ連合会の会員と町内の小・中学校、保育・幼稚園から子どもたちが参加。スタッフも含め総勢250人で盛大に開催されました。子どもたちはやぐらを囲んで子ども盆踊りに挑戦。泉地区の方々のお手本を見ながら一生懸命踊りました。その他にも大人が踊る北海盆踊りやゲーム大会、バントワラーのステージ、仮装盆踊りなど様々なプログラムが実施され、参加者の皆さんは気持ちよく体を動かして楽しみました。

8月8日

## 特殊詐欺・飲酒運転の防止を呼びかけ 「かもめ〜」啓発はがき配達



配達に出発

弟子屈郵便局と弟子屈警察署が主催する「弟子屈町内振り込め詐欺防止対策・飲酒運転撲滅かもめ〜」の配達出発式が8月8日、弟子屈郵便局車庫前で行われました。

多発する「特殊詐欺」と悲惨な事故を起こしている「飲酒運転」の防止に向けた啓発を図るためのもので、4年前から取り組まれています。今年には町内の20の団体や企業が協賛し、全戸への配布が実現しました。出発式には関係者約20人が参列。協賛団体の代表者がはがきを集配担当局員に手渡し、受け取った局員たちは安全唱和を行った後、参列者に見送られながら配達に出発しました。